

**第16回栃木県障害者コントロール・アタック大会  
開催要項・競技実施要領の改正について**

(別紙)

■栃木県障害者コントロール・アタック大会開催要項					
NO	項	変更種別	現行	改正	改正理由
1	1.目的	修正	障害のある方もない方もともに楽しめるコントロール・アタック競技をとおして交流を深め、心身の健康増進や積極的な社会参加を促進することを目的とする。	子供から高齢者まで、性別や障害の有無に関わらず誰もが楽しめるコントロール・アタック競技をとおして交流を深め、心身の健康増進や積極的な社会参加を促進することを目的とする。	表記をより具体的にすることで、大会開催の目的を理解していただき、より多くの方に大会に参加していただくため
2	6.競技部門	追記		フレンドシップ部門	障害の有無やチーム構成などに関わらず、誰もが大会に参加ができるようにするため
3	7.対象	追記		フレンドシップ部門 ・県内在住・在勤・在学の小学生以上の方（障害の有無は問わない） ・1チーム3名以上（最大6名まで） ※健常者のみで構成されたチームでも参加可能 ※個人でも申込み可能 ※個人で参加される方は、栃木県パラスポーツ指導員の方とチームを組んで出場します。	性別や年齢、障害の有無に関わらず、誰もが共に楽しめる大会を目指すため
4	8.申込定員	追記		フレンドシップ部門…8チーム程度	部門の追加に伴う追記
5	13.表彰	追記		フレンドシップ部門…1位から3位まで表彰する。	部門の追加に伴う追記
■栃木県障害者コントロール・アタック大会競技実施要領					
NO	項	変更種別	現行	改正	改正理由
1	3.競技方法(1)	追加		フレンドシップ部門…各ブロック2位までの勝ち抜き戦とする。	部門の追加に伴う追記
2	3.競技方法(3)	修正	①各ブロック1位のチームによるトーナメント戦を行う。なお、第3セット終了時点で同点の場合は、勝敗が決するまでセット毎に対戦する。	①ファイティング部門各ブロック1位（フレンドシップ部門は2位）までのチームによる決勝トーナメントを行う。なお、第3セット終了時点まで同点の場合は、勝敗が決するまでセット毎に対戦する（最大2セット）それでも同点の場合は代表者によるファイナルショット制とする。5点のシートの中心に近い方を勝ちとする。	開催時間の短縮
3	3.競技方法(4)	修正	②引き分けの場合は、予選リーグ戦又は予選リンク戦にて、(ア)総得点の多い方(イ)総得点の少ない方の順番で勝敗を決める。	②引き分けの場合は、代表者によるファイナルショット制とする。5点シートの中心に使い方を勝ちとする。	競技規則の簡略化